

オリンピック先生



うえやま やすひろ

上山 容弘 先生

【体操／トランポリン】

- 生年月日 1984年10月16日
- 出身地 大阪府泉南市
- 出身校 泉南市立一丘中学校－
大阪府立日根野高等学校－
大阪体育大学－大阪体育大学大学院



プロフィール

父の影響で幼少期からトランポリン競技を始める。2005年全日本選手権に於いて、個人、シンクロ共に優勝。翌年ワールドカップで4勝を挙げ、日本人選手初の世界ランキング1位に輝く。2008年北京大会に出場。続く2012年ロンドン大会への2大会連続出場を果たし、5位入賞の成績を収める。2016年に一度現役を引退するが、同年再び復帰し、2022年ワールドカップシリーズイタリア大会で優勝を飾る。現在も競技を続けながら、トランポリン教室のコーチを務める。また講演活動やトランポリン体験イベント等に積極的に取り組み、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2008年	北京大会	男子個人 9位
2012年	ロンドン大会	男子個人 5位

<国際大会>

2013年	世界選手権大会	シンクロ 優勝
2018年	環太平洋体操競技選手権大会	団体・個人・シンクロ 優勝
2022年	FIG ワールドカップ 第2戦	個人 優勝

<国内大会>

2000年～2019年	全日本選手権大会	個人 優勝 7回／シンクロ 優勝 9回
-------------	----------	---------------------

体操／トランポリン

空中でのアクロバティックな演技で、美しさ・難しさ・高さを競う採点競技。技の出来栄を見る演技点と、回転とひねりの数で算出する難度点、滞空時間を計測する跳躍時間点、さらにどれだけトランポリンの中心で演技を行うかを評価する移動点の合計得点で順位を競います。男子選手のジャンプの高さは地上8メートルにも達するほどダイナミックですが、空中でわずかでも姿勢を崩すと中央のゾーンに着床できないという繊細な一面も持っています。



写真：JOC：ロイター／アフロ：フォート・キシモト

オリンピック先生



さくらい ゆ か

櫻井 由香 先生

【バレーボール】

- 生年月日 1974年9月2日
- 出身地 岐阜県海津市
- 出身校 海津市立南濃中学校－
養老女子商業高等学校－
(現：大垣養老高等学校)



プロフィール

小学校5年生から本格的にバレーボール競技を始める。高校卒業後、実業団に所属し、2001年ワールドグランドチャンピオンズカップに於いて、3位の成績を収め、ベストリベロ賞を受賞。2008年北京大会への出場を果たし、5位入賞に貢献する。2010年皇后杯全日本バレーボール選手権大会で優勝を飾り、2012年Vリーグ特別賞を受賞。同年、現役を引退。現在はバレーボール競技を通じて社会貢献や普及活動を広める「V・明日夢(みらい)プロジェクト」を立ち上げ、バレーボール教室を全国各地に広め、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2008年	北京大会	5位
-------	------	----

<国際大会>

1999年	ワールドカップ	6位
-------	---------	----

2001年	バレーボール・ワールドグランドチャンピオンズカップ	3位
-------	---------------------------	----

2005年	第13回ワールドグランプリ	5位
-------	---------------	----

<国内大会>

2010年	皇后杯全日本バレーボール選手権大会	優勝
-------	-------------------	----

バレーボール

ネットによって分けられた18m×9mのコートで、2つのチームがネット越しにボールを打ち合う球技。ボールを落とさずに、3回以内のタッチで相手コートに返球します。相手チームのサーブをレシーブし、トスを上げ、スパイクを打ちこむのが基本的な流れで、攻撃と防御を交互に行うことになります。個人の高い技能はもちろん、戦術を理解し共有する固いチームワークや協調性が求められます。



写真：JOC：アフロ

引用：JOC資料